

科目コード/科目名 (Course Code / Course Title)	BX193/世界経済論 (International Economics)		
テーマ/サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	世界－国家－地域の関連を複眼的に見る		
担当者名 (Instructor)	蓮見 雄(HASUMI YU)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ECX1410	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2～4年生		

授業の目標(Course Objectives)

経済活動のグローバル化と不均質な世界経済を理解する力を養う。

To develop the ability to understand the globalization of economic activities and the heterogeneous global economy.

授業の内容(Course Contents)

今日、たとえ一国一地域のローカルな問題であっても、世界経済との関係を抜きに理解することは難しい。国家の経済政策や社会政策も、経済活動のグローバル化への適応を迫られ、変容し始めている。本講義では、ヨーロッパに焦点を定めつつ、国境を越えた都市・地域間ネットワーク形成という視点を織り込みながら、世界経済の変化とグローバル経済ガバナンスの可能性について講義する。また、本講義は、世界各地、各種の基礎的なデータへのアクセス方法を確認し、世界経済を支えている WTO、IMF、G7、G20 等の役割、及び国家の経済政策への影響に関する基礎知識を習得することを目指す。なお、受講生の理解度や講義の進捗状況による講義の順序を調整する場合がある。

Today, even if a problem is local to one country or region, it is difficult to understand it without considering its relationship to the global economy. The economic and social policies of nations are being forced to address the globalization of economic activities and are beginning to be transformed accordingly. This lecture focuses on Europe and incorporates the perspective of forming a network among cities and regions that extends beyond national borders while discussing the changes in the global economy and the possibility of global economic governance. Further, this lecture aims to check the methods for accessing basic data of various types for various regions around the world, and to acquire a basic knowledge of the roles and impact on national economic policy of the WTO, IMF, G7, and G20, etc., which support the global economy. The order in which subject matter is presented in the lecture may be changed depending on the level of understanding of the students and the way the lecture is progressing.

授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション
2. 不均質な世界とグローバル・シフト
3. 1985年の転換
4. 資本移動とグローバル生産ネットワーク
5. 生産連鎖と世界経済の3つの層
6. グローバル経済中の国家の役割の変化－内外一体の政策へ
7. 通商ガバナンスとWTOの役割と課題－マーケットアクセスからルールへ
8. 世界の国・地域のデータを調べてみよう(レポート課題あり)。
9. 地域経済統合
10. 欧州連合(EU)にみるリージョナル経済ガバナンス
11. グローバル経済下における2つのトリレンマ－国際金融のトリレンマと世界経済の政治的トリレンマ
12. 気候変動・エネルギー問題と世界経済
13. 社会問題のグローバル化、持続可能性(sustainability)、説明責任(accountability):多国籍企業と市民社会
14. まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

予習:講義資料は、Blackboardで配布するので、各自で印刷して目を通してから授業に参加すること。

復習:講義資料と授業時に紹介する参考資料で復習すること。

参考文献として、特に P. Dicken, Global Shift, 7th edition (Guilford Pr., 2015) 推奨する。深く学びたい学生は、同文献を参照すること。

成績評価方法・基準(Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(70%)/中間レポート(30%)

第 8 回予定の授業内容に即した中間レポート課題があります。

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

1. P. Dicken. 2015. *Global Shift, 7th edition*. Guilford Pr. (ISBN:978-1462519552)
 2. 齋藤修・古川純子編、2020、『分水嶺に立つ市場と社会』、文眞堂 (ISBN:978-4830950766)
 3. クレイン・ペティス、2021、『貿易戦争は階級闘争である』、みすず書房 (ISBN:978-4622089995)
 4. グラツィア・イェットギリエス、2021、『多国籍企業論—概念・理念・影響—』、同文館出版 (ISBN:978-4495443023)
 5. 中村雅秀、2021、『タックス・ヘイヴンの経済学』、京都大学学術出版会 (ISBN:978-4814003020)
 6. ダニエル・ヤーギン、2022、『新しい世界の資源地図: エネルギー・気候変動・国家の衝突』、東洋経済新報社 (ISBN:978-4492444665)
 7. 伊豫谷 登士翁、2021、『グローバリゼーション — 移動から現代を読みとく』、筑摩書房 (ISBN:978-4480074485)
- 本講義のエッセンスは、拙稿「通商・金融と社会問題—グローバル化と国際機構・EU」(庄司克宏編『国際機構 新版』(岩波書店、2021 年))として公表しています。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

世界経済評論 IMPACT <http://www.world-economic-review.jp/impact/>
「欧州のエネルギー・環境政策の俯瞰—欧州グリーンディールの射程(前編)(後編)」『石油・天然ガスレビュー』第 55 巻、第 2 号、第 3 号
<https://oilgas-info.jogmec.go.jp/ebook/202103/index.html?pNo=1>
<https://oilgas-info.jogmec.go.jp/ebook/202105/index.html?pNo=1>

注意事項(Notice)